

オープン型最終処分場と被覆型最終処分場

項目	オープン型	被覆型
事例	 <p style="text-align: center;">函館市 七五郎沢廃棄物最終処分場</p>	 <p style="text-align: center;">水戸市 一般廃棄物第三最終処分場</p>
立地条件	制約が比較的小さい	平面な土地に建設することが多い
埋立容量	大規模な埋立容量を確保することが可能 埋立容量変更に対する自由度が高い	実績としては小規模な埋立容量のものが多い 埋立容量変更には制限がある
埋立作業	降雨や積雪の影響がある	高温や粉じん、ガス対策等の作業環境維持に注意が必要
浸出水量	降雨量や積雪量に影響を受ける	自然降雨の影響がなく、浸出水量をコントロールできる
浸出水処理施設	比較的施設規模が大きい 降雨量や積雪量により施設規模が影響される	比較的施設規模が小さい
廃棄物の飛散 および流出対策	覆土(即日, 中間, 最終)	被覆施設
安全性	豪雨時に浸出水量が増大 地震時に周囲の斜面崩壊による土砂流入リスクあり	豪雨時の影響は少ない 地震時には被覆が崩落することで二次的な災害が生じるリスクあり
建設コスト	埋立地造成工事にかかる面積あたりコストは、小さい 浸出水処理施設建設工事にかかるコストは大きい	埋立地工事にかかるコストは大きい 浸出水処理施設建設工事にかかるコストは小さい
ランニングコスト	埋立地に係るコストは比較的小さい 浸出水処理施設に係るコストは大きい	人口散水の管理など埋立地に係るコストは大きい 浸出水処理施設に係るコストは小さい
所見	埋め立て容量あたりのコストは比較的小さい 施工性に困難さはない	埋め立て容量あたりのコストは比較的大きい ごみの飛散や悪臭等環境への影響は非常に小さい 近年の整備実績は全国的に増加